

奈良市で回収された死亡野鳥で A型鳥インフルエンザ陽性！

5月17日に奈良市で回収された死亡野鳥（ハシブトガラス）の簡易検査でA型鳥インフルエンザウイルス陽性と判定されました。

今後、高病原性鳥インフルエンザ等の確定検査を実施する予定です。

【今回の事例の経緯等】

- ・5月17日、奈良市内で野鳥（ハシブトガラス）2羽の死亡個体を回収。
- ・5月17日、奈良県による簡易検査でA型鳥インフルエンザウイルス陽性と判定。
- ・鳥取大学で遺伝子検査を実施予定。

※現時点では、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認された段階であり、病原性は未確定で、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたわけではありません。

◆◆◆鶏など家きん飼養者の皆様へ◆◆◆

北海道、東北地域の家きん農場では、5月に入っても高病原性鳥インフルエンザが続発しています。

○本病の発生予防対策の再点検をお願いします。

- ・防鳥ネットのチェックなど野生動物の家きん舎への侵入防止
- ・農場の外と内を明確にして、入場時の人・車両などを消毒
- ・家きん舎出入口で靴底などを消毒

○鶏など家きんに異常が見られた場合は、すぐに当所まで連絡して下さい。